

## 新曽小給食増築



齋藤 直子 議員

**Q** 12月議会になぜ提案されなかったのか  
**A** 熟慮したく提出に至らなかった

**議員** 10月9日の文教・建設委員会での「新曽小学校の増築等について」の報告案件は、どんな内容であったか。

**教育部長** 新曽小学校の児童数増に伴い、平成35年度からの教室不足の見込みと33年度からの戸田第一小学校建て替え工事中に給食調理場が使用できないため、給食センターから給食の提供を予定しているが、提供食数は超過する見込み。今後、他の学校の建て替え工事中においても同様のことが想定される。将来の安定した教室数と給食提供の確保のため、33年度の供用開始を目指して、新曽小給食調理場を含む教室棟の増築を計画と報告。その設計業務に伴う債務負担行為の補正予算を12月議会に行う予定であると報告した。

**議員** 委員会報告されたということとは、市長の決裁あったとのこと。なぜ、12月議会に提案されなかったのか。委員会軽視と思えるが、

どう考えるか。

**市長** 地域の方からのご意見や時間的猶予も確認できたことから熟慮したく提出に至らなかった。説明せずに見送ることになったことは、真摯に受け止め改善する。

### その他の質問

**Q** 高齢者版病児・病後児保育のよな支援はできないか。  
**A** 一時的に体調不良の高齢者を預かる施設は市内にない現状。



▲自校式給食調理場の建築予定地(校舎北側の校庭)

## 認知症対策



石川 清明 議員

**Q** 早期発見に向けて検査費用を助成しては  
**A** 効果的な早期対応策を研究する

**議員** 戸田市における認知症患者の現状と課題について伺う。

**福祉部長** 国の推計値である高齢者人口の15%を当てはめると、認知症の人は市内に約3400人いると推定される。認知症を起因とした徘徊やトラブルの相談など数多く寄せられ、その対応に苦慮するケースが増えている現状がある。認知症高齢者を見守り、支援する仕組みづくりが喫緊の課題であり、この仕組みづくりを地域の方と共に進めている。

**議員** 今後の認知症患者数の予測は。

**福祉部長** 2025年の国の推計値とされる高齢者人口の20%を当てはめると、約5千人に達すると推計される。

**議員** 認知症の早期発見・早期受診に向けて、認知症診断に必要な検査費用を助成してはどうか。

**福祉部長** 認知症機能のチェックは、本市が発行している「認知症



▶戸田市認知症お役立ち情報ガイド

お役立ち情報ガイド」をはじめ、医療機関等が作成しているチェックリストを活用することで、おおよその状態を把握することができると。しばらくは「認知症お役立ち情報ガイド」の認知症チェックの活用と地域包括支援センターへ相談していただくなど、早期発見・早期対応につなげていく。

診断に必要な検査費用助成については、先進市の取り組み状況を見ながら、効果的な早期対応策を研究する。

## 防災・減災対策



**Q** 食物アレルギー対応食品の備蓄の現状は  
**A** 全体の6割程度、順次入れ替える

**議員** 災害時の備蓄品について①食物アレルギー対応食品の備蓄の現状は②乳児用液体ミルクの導入について伺う。

**危機管理監** ①東京湾北部地震発生時の想定避難者数、約1万4000人のおよそ3日分の10万8千食。このうち食物アレルギーとして特に注意が必要とされる特定原材料等27品目を使用していない食料は、全体の備蓄食料のおよそ6割程度。今後も順次アレルギー対応製品へ入れ替えていく②粉ミルクに比べて災害時にも活用しやすい製品として注目されている。備蓄品としての検討をしていく。

**議員** 災害時のトイレ問題は重要。マンホールトイレをもっと普及させてはいかがか。整備状況と今後の予定を伺う。

**危機管理監** マンホールトイレは10基保有。現在、戸田東小・中学校の建て替え工事に伴い、敷地内に整備の予定。今後は、避難所施



▲備蓄されている食物アレルギー対応食品

設の改修工事に合わせて整備を検討する。

### 空き家対策は

**議員** 市内、管理不全な空き家の件数を伺う。

**都市整備部長** 相談のあった市内空き家71件中、適正管理されたものの39件、対応が必要なものの32件。

**議員** 今後の対応策は。

**都市整備部長** 不動産・建築・法律の専門家団体と協定を締結し、相談体制を構築する。

## 防災・減災対策



**Q** 地域強靱化計画を策定すべきでは  
**A** 議員の提案通り策定を考えていく

**議員** 福祉保健センター、健康福祉の杜周辺地域は、豪雨時に道路冠水被害等が頻発している。抜本的な対策を講じるべき。見解は。

**都市整備部長** 上戸田川の整備が有効な手段だが、区画整理事業に合わせて整備するため完了までに相当な期間が必要になる。そのため浸水対策として調整池を整備してきた。蔵市が富士見公園内に計画している調整池に対し早期整備を要望していく。

**議員** 第5次総合振興計画に合わせ、「地域強靱化計画」を策定すべきと考え提案する。

### 危機管理監

本市の「起きてはならない最悪の事態」に対する地域の脆弱性分析を行いながら、議員の提案通り策定を考えていく。

**議員** 地域強靱化を着実に進めるため、また市民の安心のためにも防災・減災基金創設を。

**市長** 災害時の被害を最小限にしていくリスクマネジメントとして

### 中小企業振興政策推進を

**議員** 市内企業の現状やニーズを把握するのが重要だ。企業訪問調査やアンケート調査などの取り組み推進を。

**環境経済部長** 市内全域の企業・事業所を対象とした基礎調査を実施予定。その結果を基に支援策を検討・実施していく。



▶国土強靱化啓発ポスター (出典：内閣官房 国土強靱化推進室)